

みなとみらい21地区の「脱炭素先行地域」の取組について

令和4年4月に「みなとみらい21地区」が、環境省が公募する第1回脱炭素先行地域に選定されました。参画施設と意見交換を重ねながら、公民連携で進めている取組についてご報告します。

1 取組概要

(1) 脱炭素先行地域の概要

環境省が公募する地域で、**2030年度までに「民生部門(家庭部門及び業務その他部門)の電力消費に伴うCO2排出の実質ゼロ」などの要件を地域特性に応じて実現するものです。**脱炭素先行地域での先行的な取組が全国に広がる「脱炭素ドミノ」を起こすことで、2050年カーボンニュートラルに向けた道筋を示すことを目指しています。



(2) 国への提案概要

- ア タイトル: 「みなとみらい21地区における**公民連携で挑戦する大都市脱炭素化モデル**」
- イ 提案者: 横浜市、一般社団法人 横浜みなとみらい21(YMM)
- ウ 参画施設: 32 施設
- エ 脱炭素先行地域の要件及び取組全体像

| 先行地域の要件 | 主な取組 |
|---|--|
| <電力> 2030年度までに電力消費に伴うCO2排出実質ゼロ実現 | ア 最大限の省エネ イ 電力の再生可能エネルギーへの転換 |
| <その他の要件> ・地域特性に応じた温暖化対策の取組(電力以外) ・脱炭素の取組に伴う地域課題の解決や住民の暮らしの質の向上 | ウ 日本最大規模の地域冷暖房における熱の低・脱炭素化 エ 廃棄物の資源循環の推進 オ 市民・事業者一人ひとりの脱炭素化への行動変容を促すイベント等の実施 |

2 参画施設数の状況

地域内のより多くの施設での脱炭素の取組展開に向けて、選定以降も継続して参画の呼びかけを行っています。
その結果、**3施設から参加意向を受け、参画施設は35施設※に増加しました。**

| 参加意向表明した施設※ | |
|-------------|--|
| 1 | 横浜ベイコート倶楽部ホテル&スパリゾート ザ・カハラ・ホテル&リゾート 横浜 |
| 2 | 横浜新都市ビル |
| 3 | スカイビル |

※環境省に対し、参画手続き中

3 ゼロエミッション分科会の開催実績

YMMが運営する環境対策委員会の下に設置された参画施設が脱炭素に特化して議論する場であるゼロエミッション分科会を、**令和4年度は7回開催し、具体的取組の検討や情報共有、イベントなどを実施しました。**



4 具体的取組

(1) 最大限の省エネ

ア 照明設備のLED化

徹底した省エネを推進するため、**省エネ効果の高い照明のLED化を実施しました。**

○進捗状況(提案時～令和4年度末※まで) ※アンケート等による推計

| 提案時の先行地域のLED化率 | 令和4年度末の先行地域のLED化率 |
|----------------|-------------------|
| 約70% | 約74%(約4ポイント増加) |

イ ZEB化の推進

横浜シンフォステージ(令和6年3月完成予定)オフィス部分の「ZEB Ready」を達成

※ZEB:室内環境の質を維持しつつ、大幅な省エネルギー化と再生可能エネルギーを導入することで年間の一次エネルギー消費量の収支をゼロとすることを旨とした建築物

※ZEB Ready:ZEBを見据えて外皮の高断熱化及び高効率な省エネルギー設備を導入し、再生可能エネルギーを除き、現在のエネルギー消費量を基準値の50%以下まで削減した建築物



(2) 電力の再生可能エネルギーへの転換

ア 先行地域内で創出した再エネ電気の供給

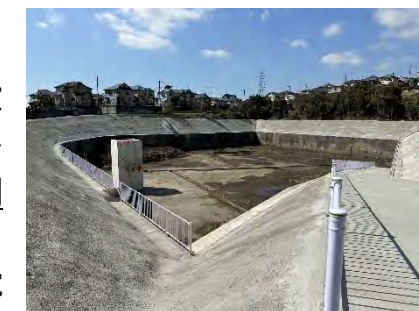
先行地域内における再エネ電力の創出に向けて、複数の施設で太陽光発電設備の設置に向けた検討を進めています。

イ 先行地域外で創出した再エネ電気の供給

① 雨水調整池を利用したオフサイトPPA実施検討

市内の雨水調整池に事業者が浮体式等の太陽光発電設備を設置し、発電した電力を、先行地域の施設へ供給する、オフサイトPPAの実施検討を行うため、**令和5年4月に事業提案の公募を開始しました。**

※オフサイトPPA:再生可能エネルギーの所有者である事業者と需要家が、再生可能エネルギーの売買契約を締結し、需要地ではないオフサイトで発電された再生可能エネルギーを、一般の電力系統を介して需要家へ供給する契約方式



② 他自治体との連携の強化

2019年より進めている再生可能エネルギーを豊富に有する自治体との連携により、先行地域の施設をはじめ市内への再生可能エネルギーの供給を目指しています。令和4年度は、**秋田県大湯村(令和4年8月)・湯沢市(令和5年1月)、茨城県神栖市(令和4年7月)と新たに連携協定を締結しました。**

先行地域内で令和4年12月に開催したライトアップイベント「TOWERS Milight“UP”」で、神栖市の風力発電所及び太陽光発電所で発電された電力を活用しました。



写真提供:(一社)横浜みなとみらい21

(3) 日本最大規模の地域冷暖房における熱の低・脱炭素化

先行地域内で熱供給事業を行うみなとみらい二十一熱供給株式会社と連携し、既存熱源の高効率熱源機器への更新や、最新機器を導入した新プラント建設等、熱の低・脱炭素化に向けた検討を進めています。



(4) 廃棄物の資源循環の推進

先行地域内で発生するペットボトルを、ペットボトルに再生する取組(ボトル to ボトル)の実現に向け、複数の施設が連携し一体となった回収から再生までの仕組みづくりを検討しています。



(5) 市民・事業者一人ひとりの脱炭素化への行動変容を促すイベント等の実施

来街者やテナント等に向けた取組の認知向上、脱炭素に向けた行動変容を促進するため、普及啓発やイベントの開催を実施しました。

- ・**ロゴマークやチラシ**(各テナントで実践できる取組紹介)の作成(令和5年1月)
- ・動く歩道への脱炭素を呼びかける**バナーフラッグの掲出**(令和5年3月13日~19日)
- ・サーキュラー・エコノミーをテーマとした**イベント**
「サーキュラー・ウィークエンド」の開催(令和5年3月24日~25日)
 ※施設代表者によるパネルディスカッションやワークショップ等



みなとみらい 21 地区
脱炭素推進のオリジナルロゴマーク



サーキュラー・ウィークエンド
ワークショップの様子



<参考> 参画施設一覧(令和5年4月現在)

| 施設(街区順) | |
|---------|------------------------------|
| 1 | 横浜赤レンガ倉庫 |
| 2 | MARINE&WALK YOKOHAMA |
| 3 | 横浜ハンマーヘッド 新港ふ頭客船ターミナル |
| 4 | A u d i みなとみらい |
| 5 | 横浜ワールドポーターズ |
| 6 | よこはまコスモワールド |
| 7 | アニヴェルセルみなとみらい横浜 |
| 8 | パシフィコ横浜 |
| 9 | 横浜みなと博物館(日本丸メモリアルパーク) |
| 10 | クイーンズスクエア横浜 |
| 11 | 横浜ランドマークタワー |
| 12 | 横浜銀行本店ビル |
| 13 | 日石横浜ビル |
| 14 | みなとみらい2 1 熱供給センタープラント |
| 15 | みなとみらい2 1 クリーンセンター |
| 16 | みなとみらいビジネススクエア |
| 17 | MMパークビル |
| 18 | M A R K I S みなとみらい |
| 19 | 横浜美術館 |
| 20 | 横浜メディアタワー |
| 21 | みなとみらいグランドセントラルタワー |
| 22 | 神奈川大学みなとみらいキャンパス |
| 23 | 横浜アイマークプレイス |
| 24 | 横浜野村ビル |
| 25 | 村田製作所みなとみらいイノベーションセンター |
| 26 | 横浜シンフォステージ |
| 27 | 横浜グランゲート |
| 28 | 京急グループ本社 |
| 29 | 資生堂グローバルイノベーションセンター(S/PARK) |
| 30 | 横浜ゲートタワー |
| 31 | 富士フイルムビジネスイノベーション横浜みなとみらい事業所 |
| 32 | 日産自動車株式会社グローバル本社 |

5 今後の取組

目標とする2030年度までの民生部門の電力消費に伴うCO2排出の実質ゼロに向け、まずは、徹底した省エネに取り組み、あわせて、電力を再エネに転換していくため、地域内での太陽光発電設備の設置や地域外からの再エネの導入を進めます。さらに、熱の低・脱炭素化、資源循環の推進、内外に向けた普及啓発にも取り組み、来街者、住民等も巻き込んだ取組としてまちづくりと連動させながら、公民連携による都市型の脱炭素モデル構築を加速していきます。